

函館市医療・介護連携支援センター行(FAX番号43-1199)

「はこだて入退院支援連携ガイド」に係わるアンケート調査

貴所属機関等についてお聞きします ※所属する団体に○をお付け下さい

団体名 ①医師会 ②歯科医師会 ③薬剤師会 ④看護連協 ⑤在宅ケア研究会 ⑥MSW協会
⑦函医連協 ⑧居宅連協 ⑨包括連協 ⑩訪リハ連協 ⑪訪看連協 ⑫老施協
⑬柔整師会 ⑭函鍼連

貴所属機関名等 名称 _____
電話番号 _____ ー _____ ご記入者名 _____

はこだて入退院支援連携ガイドの活用について ※数字に○をお付け下さい

(1) 貴所属機関等では、「はこだて入退院支援連携ガイド」(以下「連携ガイド」と表記)を
ご覧になったことがありますか。

① はい ② いいえ → 別紙1「連携ガイド」のご案内、を是非ご覧ください。

(2) (1)で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。

ア 日常業務において「連携ガイド」を活用する機会がありますか。

① はい ② いいえ → 以上で質問は終了です。差し支えなければ理由をお聞かせ下さい。

イ どのような機会に活用していますか。

(例)入退院支援が必要な者が発生した場合の手引き、カンファレンス、研修など

ウ どのくらいの頻度でお使いですか。

① 頻繁に使用 ② 月に数回 ③ 年に数回

(3)「連携ガイド」の内容について、見直しが必要と思われますか。

① はい ② いいえ → 以上で質問は終了です。

どのような見直しが必要だと思われるか、ご意見をお聞かせ下さい。

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。FAXでの返信にご協力をお願い致します。

「はこだて入退院支援連携ガイド」のご案内

函館市医療・介護連携推進協議会では、医療・介護サービスの両方を必要としている高齢者等について、入院から在宅への移行がスムーズに行われるよう、医療・介護関係者間の切れ目のない入退院支援の流れをまとめた『はこだて入退院支援連携ガイド』を作成し、平成29年4月から運用を開始しております。

このガイドは、全市的な視点で医療・介護双方の関係者の望ましい連携の形を可視化させたものであり、函館市医療・介護連携支援センターでは、その運用の標準化を目指し活用を推奨しております。

下記よりこのガイドの閲覧およびダウンロードができますので、ぜひご活用を検討下さいますようお願い申し上げます。

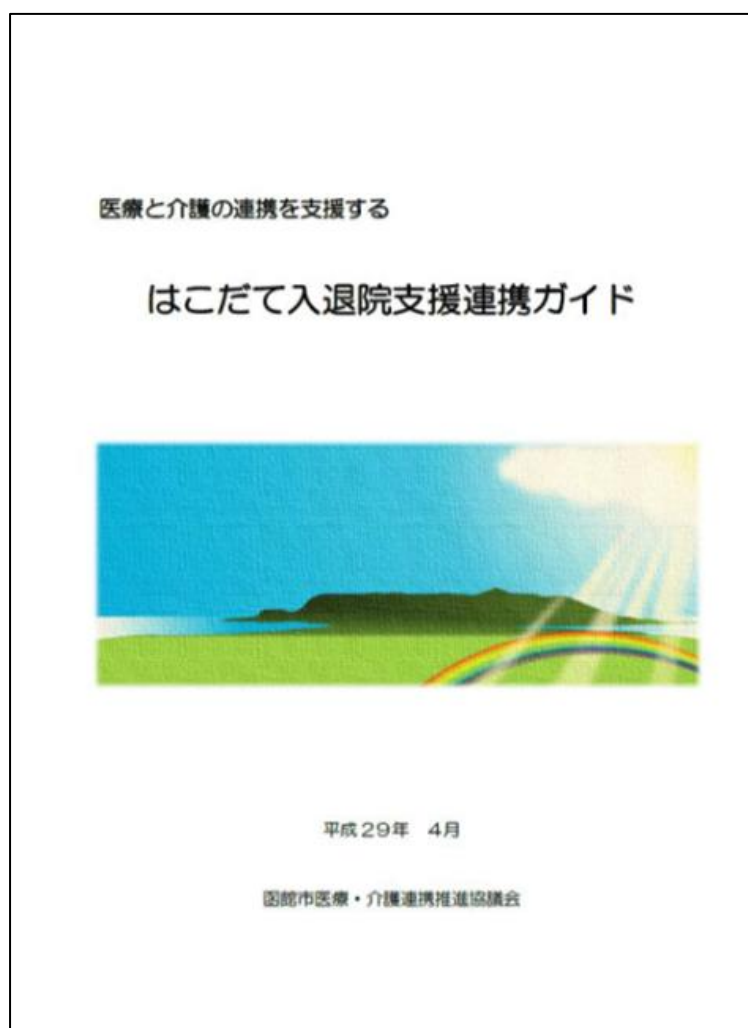
○函館市医療・介護連携支援センターホームページ

<https://hakodate-ikr.jp/>

○『はこだて入退院支援連携ガイド』

※ 上記センターホームページのトップページ最下段のダウンロード用のリンクにて簡単にご利用いただけます。

<https://hakodate-ikr.jp/assets/pdf/はこだて入退院支援連携ガイド.pdf>



「はこだて入退院支援連携ガイド」に係わるアンケート調査

アンケート集計結果

○ 調査方法および調査期間

- ・ 調査方法 ～ 函館市医療・介護連携協議会および各部会・分科会に所属する医療・介護関係の各団体に対し、各団体傘下の会員等に対するアンケート調査の周知と実施を依頼し、回収した。
- ・ 調査期間 ～ 平成30年1月25日～平成30年2月9日

○ 設問ごとの集計結果

1. 貴所属機関等についてお聞きします N=185

	配布数	回収数	回収率
・ 医師会	171	65	38%
・ 歯科医師会	129	24	19%
・ 薬剤師会	13	13	100%
・ MSW協会	20	13	65%
・ 居宅連協	74	19	26%
・ 包括連協	10	9	90%
・ 訪リハ連協	14	6	43%
・ 訪看連協	20	8	40%
・ 老施協	21	11	52%
・ 柔整師会	61	11	18%
・ 函鍼連	42	6	14%
合計	575	185	32%

2. 貴所属機関等では、「はこだて入退院支援連携ガイド」(以下「連携ガイド」と表記)をご覧になったことがありますか N=185

	はい	いいえ
・ 医師会	27	38
・ 歯科医師会	8	16
・ 薬剤師会	6	7
・ MSW協会	13	0
・ 居宅連協	18	1
・ 包括連協	9	0
・ 訪リハ連協	4	2
・ 訪看連協	8	0
・ 老施協	10	1
・ 柔整師会	7	4
・ 函鍼連	5	1
合計	115	70

3. ア 日常業務において「連携ガイド」を活用する機会がありますか N=115

	はい	いいえ
・医師会	1	26
・歯科医師会	1	7
・薬剤師会	0	6
・MSW協会	4	9
・居宅連協	8	10
・包括連協	6	3
・訪リハ連協	1	3
・訪看連協	5	3
・老施協	3	7
・柔整師会	2	5
・函鍼連	2	3
合計	33	82

(アの設問で「いいえ」と答えた理由：任意記述)

- ・入退院支援に関わる機会がありませんでした。18件
- ・医療介護連携のとれている患者がほとんど。5件
- ・カンファレンスや研修などで使用させていただいています。4件
- ・まだ職員全体でしっかり確認できていないのが現状です。今年度中にそのような場を設定して、活用していきたいと考えています。3件
- ・ガイド完成時に関係部署で供覧させていただきましたが、日常業務では活用されていませんでした。(内容は良いと思います)2件
- ・今回読ませてもらったので今後活用検討します。3件
- ・直接医療介護連携支援センターに相談、問い合わせした方が分かりやすいし、情報共有もしやすいので…。2件
- ・今の所入退院支援に関与する患者さんの来院はありませんが、今後機会があれば活用させて頂きたいと思っています。2件
- ・今迄は独自に情報収集を行い他事業所と連携していた為、今後は連携ガイドも活用させていただき互いに十分な情報共有に努めたいと思います。
- ・退院前カンファレンスで知りたい情報は都度その場で質問し、実技指導・調整もお願いしている。
- ・そもそも誰が使うことを目的にされたのでしょうか。内容的には有資格者であれば、できなくてはならない内容と感じます。一般市民が見られるのであればわかりやすいと思います。

4. イ どのような機会に活用していますか（アの設問で「はい」と答えた者への設問）

（自由記述）

- ・医療，介護の連携システムの確認，社内での情報共有(研修)。9件
- ・入院時の情報収集等。5件
- ・退院時，実際の業務に役立つ内容になっており，活用させていただいています。4件
- ・退院後のサービス調整時等の参考としている。3件
- ・連絡連携が必要な際の再確認，研修での情報提供。2件
- ・今は関わっていないのが実態ですが，今後のために。患者さんへの情報提供のために。
- ・業務で迷ったとき・必要時参考にしている。利用者の入院時，動き等を確認。
- ・看護ステーション内に常備し，スタッフが目を通す，活用する。理解を深めるために使っています。利用者さんへ適切な説明ができると思います。
- ・治療の流れを確認。
- ・施設の流れを知りたい時に使っています。

5. ウ どのくらいの頻度でお使いですか N=33

- ・頻繁に使用 0
- ・月に数回 14
- ・年に数回 19

6. 「連携ガイド」の内容について，見直しが必要と思われますか N=62

- ・はい 7
- ・いいえ 55

（意見等：自由記述）

- ・現時点での見直しは必要ないと思いますが，定期的もしくは必要があれば都度，更新が必要と思います。3件
- ・施設一覧などあれば非常に便利と思われる。※特養，老健施設がどこなのかなど。
- ・P19 急変時の対応に関する体制については，よりよい連携と相互理解を目指して継続して話し合っていくことも必要かと思います。
- ・内容はいいと思いますが，文章が多すぎるかと思います。もう少し要点を箇条書き等で見せた方が自分はいいいと思いますが…。
- ・現行のガイドを本体として，入院時，退院時，緊急時など小冊子になっているものも併せてあると良いかと思います。自分にあてはまらないところは見て頂けない印象がありました。お忙しい中，大変なことと存じますが，今後とも宜しくお願い申し上げます。
- ・こまめに追加することで，ますます良いものになると思います。
- ・内容はよいと思います。沢山の関係者が活用してもっと医療と介護の現場が連携できるようになるとよいと思います。
- ・詳細を見ていないのでわかりません。
- ・参考にはなるが実際，実施されているか否かは課題であると思われる。

以上